

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和5年12月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

令和5年度「情報メディア対応能力養成講座」に参加しました

令和5年12月6日(水)13時30分から釜石市情報交流センター会議室にて令和5年度情報メディア対応能力養成講座が開催されました。この講座は青少年の非行・被害を未然に防ぐことを目的として、青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の有害情報やネットを巡る問題、ネット依存など青少年を取り巻く現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成するため、例年この時期に実施されています。

はじめに、「インターネットを巡る青少年の犯罪被害の現状と課題」と題して、岩手県警察本部 人身安全少年課 課長補佐 渡邊 浩志 氏から、インターネットやSNSが起因する福祉犯被害者の状況や、闇バイトやオーバードーズ、大麻、違法薬物の現状について講演がありました。

続いて「e-ネット安心・安全講座 plus」と題して、総務省東北総合通信局 情報通信部電気通信事業課 阿部 直樹 氏の講演があり、青少年が関わる事件や事故のほとんどがスマホやインターネットが関係しており、その内訳にはネット依存、いじめ、誘い出し、なりすまし、ネット詐欺、著作権・肖像権の侵害などがあること、また、トラブルを未然に防ぐための対策についてもお話がありました。

効果的な対策の一つとして、フィルタリングがあるものの、SNSが起因の被害児童のうち、実際にフィルタリングを利用していた人は12%程度しかおらず、大半は利用していなかったとのこと。

その他にも家庭ごとのルール作りの中で、ウェブサイトの閲覧制限やアプリの利用制限、利用時間の制限なども話し合っておくことで、保護者が子どものスマホの利用状況を把握することができ、万が一トラブルになった際にも早めの対処が可能になるとのお話がありました。

本講座を受講して、フィルタリングの設定だけではすべての危険は回避できないため、ルールの一つとして上手に活用し、日頃から家族の会話の中で子どもとのコミュニケーションをとっておくことが大切であると感じました。

これからの冬休み期間は、子どもたちがインターネットやSNSを使用する時間も増える時期になると思います。今一度、各家庭で使い方のルールと、万が一トラブルに巻き込まれた際の相談先を確認しておくともよいかもかもしれませんね。

お忙しい中、本講座に参加してくださいました、遠野市少年委員協議会副会長の菊池 タキさん どうもありがとうございました。

11月の街頭補導活動より

11月10日(金)13:00~ 青笹班

今日は市教研ということで青笹小学校児童昇降口前でティッシュを渡しながら声掛けをした。ポイントは2つで、1つ目は風邪をひかないようにということ。2つ目は交通安全に気を付けて帰るようにということである。寒い日であったが、半袖姿の子どもも何人かいた。子どもは風の子というけれど…。ティッシュを渡す度に「ありがとうございます」という元気なあいさつが返ってきた。今日も元気な子どもたちに会えてうれしかった。あいさつがいいと、こちらの気持ちも明るくなる。また元気な青笹小学校の子どもたちに会いたいものである。~ 一部抜粋 ~



11月14日(火)15:30~宮守班(達曾部)

小学校前で下校する児童へ声掛け及びグッズを配布。ここ数日急に寒くなってきたので、冬物の厚手の上着を着ている子がほとんどだったが、半袖短パン姿の子もいた。

高学年らしき子数名が、グラウンドを走っていたので、下校してくる子に「あの子たちはどうして走っているの?」と聞くと「春までに300周しないと行けないので」とのこと。「みんなはもう終わったの?」との質問には「まだ100周以上あります!」と元気な答え。16:30まで走っていた子たちを待って、「お疲れさま」とグッズを渡してから解散とした。



11月20日(月)15:20~綾織班

17日の巡回日は朝から天候が悪かったので日を変更することになった。代替日もあまり天気が良くなかったが実行した。いつもの通り校舎からでてくる所に声掛けしながらいると、小さな女の子が私共の横に来てお友達を待っていると…。そのお友達は残ってお勉強らしい。風が強く冷たいので児童館で待ったら?と言ったがここで待つと言う。何時にその子が校舎から出て来るかわからないが、まさかこの女の子を置いて活動を終わりという訳にもゆかず、一緒に待った。4時近くに校舎から出てくる子に名前を呼びながら駆け寄っていった。かなり寒い日だったが、子どもたちの友情はすごいなあと、私たちの心はほんのり暖まったような気がした。

遠野市少年委員協議会長 佐々木 芳夫さん「感謝状」贈呈

令和5年12月20日(水)宮守総合支所にて、9月に急逝された遠野市少年委員協議会長の佐々木芳夫さんのご家族に、遠野市少年センター所長から感謝状をお渡しいたしました。

芳夫さんは平成24年から遠野市少年委員の宮守班班長として街頭補導活動や児童生徒の見守り、青少年健全育成のための環境浄化活動にご尽力くださいました。平成28年度からは遠野市少年委員協議会会長を努めていただき、関係機関・団体の会議や研修会などにも積極的に参加してくださいました。優しく穏やかなお人柄で、毎月報告書を届けに来てくださる際には、地域のことをたくさんお話してくださいました。改めてこれまでのご厚情に深く感謝申し上げます。



休みがはじまります



少年センターから



12月25日までに市内すべての小中学校で2学期の終業式が行われ、子どもたちが楽しみにしている冬休みがはじまります。年末年始はクリスマスプレゼントやお年玉で欲しかったゲーム機やスマホを手にする機会も増え、長期休みの気のゆるみから生活も不規則になりがちです。

若者が市販薬を大量摂取するオーバードーズのニュースは毎日のように目にしますし、大麻に似た成分が含まれるグミが気軽に購入できたり、闇バイトに勧誘されるなど、インターネットやSNSを当たり前に使う子どもたちにとって、悪意を持った大人や犯罪につながってしまう可能性は、都市部だけに限られたものではありません。

家庭でのスマホ利用のルール作りはもちろん大切ですが、家族で過ごす時間も多この季節、地域の行事や初詣などに出かけたり、昔ながらのボードゲームやカードゲームなどメディア以外の遊びと一緒にすることで、大人も子どももスクリーンタイムを減らす工夫につながるかもしれませんね。

冬休み明けの見守りでは、元気な子どもたちの姿を見ることができのを楽しみにしています。